

# 思い出を胸に四十八名が卒業 第七回島根リハビリテーション学院 卒業証書授与式

島根リハビリテーション学院の第七回卒業証書授与式が三月十日、カルチャープラザ仁多において開催され、卒業生四十八名（理学療法学科二十六名）と保護者や在校生、森山勝利島根医科大学名誉教授や岩田町長など多くの



感謝のことはを述べる堀尾さん

来賓が出席しました。

式典では、卒業生にそれぞれ卒業証書が授与された後、下山誠学院長から「自ら学ぶ姿勢を忘れず、幅広い知識や技術を身につけ、患者さんから信頼される医療人として成長してほしい」と告辞が述べられました。

また、卒業生を代表して理学療法学科の堀尾孝子さんが「地域の方をはじめ多くの方々に支えていただきこの日が迎えられることができました。心から信頼してもらえるセラピストを目指して努力していきます」と感謝のことはを述べました。



学院歌を斉唱する卒業生

今年の卒業生も厳しい社会情勢の中、両学科とも全員就職が内定しています。本学院で学んだことを生かし、全国の医療・福祉現場でリハビリのスペシャリストとして活躍されることを期待しています。

## 女子ホッケーアンダー16 海外遠征試合 日本代表に2名が選出



岩田町長から激励金を受ける牛尾選手と早戸選手（左）

女子ホッケーアンダー十六（十六歳以下）の海外遠征試合日本代表に、横田高校から牛尾朱里選手（一年生）と早戸沙希選手（一年生）の二名が選ばれ、二月十二日、役場仁多庁舎で激励式が行われました。

この遠征は、若年層の運動能力の高い意欲のあるプレイヤーを早期に発掘し、将来世界で活躍できる日本代表選手を育成することを目的に行われています。激励式では岩田町長から「これまでの練習の成果を遺憾なく発揮し、本町の更なるホッケーレベルの向上につ

ながてほしい」と激励の挨拶があり、激励金が贈呈されました。

両選手からは「チームの勝利に貢献できるよう頑張りたい」と決意の言葉がありました。

二人は、一年生ながら昨年十月の秋の国体で三位に入ったメンバーで、十一月に奈良県で行われた全国選抜合宿に参加し、全国の優秀選手の中から十八人のメンバーに選ばれました。海外でのプレーを経験し、技術力、精神力で大きなレベルアップを果たしてくるでしょう。